

あとがき

今年も各務原と敦賀の子どもたちの心をつなぐ、『リレーメルヘン』が完成しました。

ここは皆さんだけが作り出すことのできた、不思議の世界です。どの作品にも、実に皆さんらしい、みずみずしい感性があふれています。皆さんの願いや夢が込められています。そのような思いが、ここにのせられた数々の作品を生み出す原動力となったのでしよう。本を読まなくなった子どもたちのことをよく耳にしますが、一方で皆さんのような人たちがいることを大変心強く感じます。

『「書く」という作業は自分自身との対話である』といった人がいます。人間は思い出したり考えたり考えたことを「書く」ことによつて、より深く自分自身を見つめ、理解するようになります。皆さんはこれらの作品を書くことにより、

自分という人間と向き合い、自分の願いやあこがれが何であるのかに気づいたのではないでしょうか。このことは、将来皆さんにとって大切な道しるべとなるように思えます。この『リレーメルヘン』は、皆さんにとってかけがえのない、大切な思い出の本となることでしよう。

最後になりましたが、このように素晴らしいリレーメルヘンの完成に関わって下さった両市図書館の皆様と各学校の先生方に、心からお礼を申し上げます。

敦賀市小学校教育研究会学校図書館部長 橋谷順平